

ますだ通信

愛知県議会議員 ますだ裕二 中区選出

県民環境委員会 常任委員
名古屋競馬組合議会 議員



～令和6年～
夏号

6月議会において一般質問させていただきました 愛知・名古屋を中心とする大都市圏の将来像について質問しました。

Q

東京一極集中については、コロナ禍を契機として、地方から東京圏への人の流れに変化が生じるとの見方もあったが、新型コロナウィルス感染症の影響縮小とともに、2022年には東京圏への転入超過が大幅に拡大し、再び東京一極集中の傾向へと戻ってきており、愛知・名古屋の都市としての魅力向上は喫緊の課題であると考える。私の地元では、古くから歴史のある三の丸地区において再開発の構想が立ち上がりつつある。私は、高いポテンシャルをもつ三の丸地区において、全国でも成功事例の多い歴史まちづくりを進めるべきだと考える。そこで、この三の丸地区再開発をはじめ、リニア中央新幹線の開業やアジア競技大会・アジアパラ競技大会の開催、IGアリーナのオープンなど都市の魅力を高める大きなプロジェクトに対する現状認識と、愛知県・名古屋を中心とする大都市圏の将来像をどのように考えているのか。



A

リニア中央新幹線の全線開業により、三大都市圏を結ぶ「日本中央回廊」の形成が期待されるなか、愛知県は、その中心として、世界からヒト・モノ・カネ・情報が集まり、首都圏の持つ社会経済的な機能を代替し得る、世界から選ばれる魅力的な中京大都市圏の形成を目指している。今後も、リニア中央新幹線の早期開業、アジア競技大会・アジアパラ競技大会、ジブリパークの活用、STATIONAiの整備など、大きなプロジェクトを着実に進め、イノベーションを創出する好循環を生み出し、日本の成長をリードする大都市圏づくりを進めていく。



三の丸地区とは？



三の丸地区は、名古屋城の外堀、内堀および堀川に囲まれた城郭内であり、現状では、国・県・市の庁舎が立地する総面積約81ヘクタールを誇る官公庁街として、東京の霞が関につぐ規模であるといわれている。三の丸地区の歴史は、熱田台地の北端に位置し、縄文時代以前に海底に堆積した地層が海面の低下で地上に現れたもので、古くから集落が発達した地域とされ、縄文時代にはすでに集落が形成されていた。そして、1610年、名古屋城築城にはじまる名古屋城下町の建設は、行政や民間の諸機能であった拠点都市を熱田台地の高台に移す「清州越し」から始まった一大事業であり、現在の三の丸地区のもとが形づくられた。そして、築城された名古屋城を中心とする名古屋の城下町では、徳川宗春が尾張藩主であった時代に、全国からものづくりの職人や芸能者を集め、ものづくりや芸どころの文化が栄えた地域である。そんな賑わいを創出していた地域も、戦中戦後の軍事施設の設置やその米軍の接收を経て、計画的に官公庁街としての土地利用が進められた。

県政の相談・地域のお困りごと相談は

愛知県議会議員 ますだ裕二事務所

〒460-0012 名古屋市中区千代田4丁目17番8号 千代田ビル2階
TEL:052-324-3947 FAX:052-332-5684



《公式ホームページ》

断夫山古墳の保存活用について質問させていただきました

Q

この断夫山古墳は、昭和63年に測量調査が行われて以降、全く調査がなされていなかつたが、平成29～30年度にかけて、古墳のお墓の部分である墳丘の測量調査と、地中レーダー探査が名古屋市により行なわれ、その後、令和2年度～4年度まで、墳丘の周辺部を中心に発掘調査や地中レーダー探査が、愛知県と名古屋市の共同で再び行なわれた。この調査で、現在史跡に指定されているよりもさらに広い範囲で周濠が確認できたほか、歴史や風俗の解明にもつながる土器等も出土したと聞いてい
る。そこで、発掘調査の成果を経て、国の史跡への追加指定を国に意見具申していくほか、断夫山の保存活用計画を早期に作成していくべきであると思うが、県の考え方を伺う。

A

今回の発掘調査で、現在の史跡指定地より外側まで周濠が広がっていることが分かった。さらに、古墳の時代を裏付ける6世紀前半のものと思われる「須恵器」が出土した。このような事実を受け、国に史跡の指定範囲を拡大する意見具申書を国に提出した。また、これまでの発掘調査の成果をもとに、**今年度から2026年度にかけて、保存活用計画を策定していく。**



要七月安寧

には、文化庁長官の許可が必要となるが、一方で、字序い保存活用を図れるばかりか、国庫補助金を利用した保存整備が可能となることから、指定を受けられることによるメリットは大変大きいと考える。

には、文化庁長官の許可が必要となるが、一方で、手厚い保存・活用を図
れるばかりか、国庫補助金を利用した保存整備が可能となることから、指
定を受けられることによるメリットは大変大きいと考える。

さらに、古墳本体の発掘調査にも取り組んでもらいたい。断夫山古墳は、お墓本体の墳丘の発掘調査は過去に一度も行なわれていない。しかしながら、歴史を解明するためには、古墳本体の発掘調査は必要である。

A solid green horizontal bar located at the very bottom of the page, spanning most of the width of the content area.

議開き26年度までに
計画を策定する」と説明。
計画では、適切な保存管理
や活用、整備について方向
性を定める。名古屋市にも
有識者会議に参加してもら
うなど、連携を図る考えを
示した。

古墳は戦前に熱田神宮が
管理し、現在は県有地とな
っている。国史跡の指定直
後の1988年に測量調査
が行われた後は長らく調査

はなかつた。近年になつて名古屋市による測量調査や地中のレーダー探査があり、2020～22年度には古墳の周辺部で発掘調査が実施された。しかし、これまで本体である墳丘は、保存や活用の方針が定まっていなかつたことから、発掘調査は行われていなかつた。

増田裕一議員（自民）は歴史を解明するため古墳本体の発掘調査は必要だと求めた。

出典：中日新聞 2024年6月25日朝刊

「愛知県議会議員 ますだ裕二」



このQRコードの上に
スマホをかざして読み取ってください!

LINEで情報発信！

愛知県議会議員 実力大統計 ま9/3編